

「食べ物と農業の図書館」開設

昨年10月に個人図書館を開設された高見尚文さんにお話を聞きました。



高見尚文さん(岡、62歳)

Q・図書館を開くきっかけは？

高見 2年前まで農業改良普及所に勤めており、勉強のため、たくさんの本や雑誌を集め、家に抱え込んでいました。退職後、使っていなかった梨の集荷倉庫を約1年半かけて改築し、本を大移動し、昨年図書館としてオープンさせました。

名前が「食べ物と農業の図書館だいいせん」。「生産や消費について読むことのできる場をつくりたい。本を通じて生産者と消費者の交流や意思疎通ができないものか。そして、集めた本を活かしたい。読書を楽しみたいし、楽しんでほしい」といった思いから開館

Q・本の種類や、利用方法について教えてください。

高見 食べ物と農業に関する本や雑誌の内容は、日々の生活や生産に役立つ身近なものから、専門的なものまであり、非常に充実していると自負しています。

一般図書は町の図書館が豊富ですが、この図書館には意外なことにマンガもあります。

開館日は毎週日曜(13時30分～16時30分)、月曜と火曜(13時30分～16時30分、19時30分～21時)です。どなたでも無料で借りていただけますので、お気軽に



農業に関する本だけでも約8,300冊。丁寧に整理されています

お立ち寄りください。

Q・図書館のこれからの取り組みについては？

高見 学習の場としてだけではなく、ちょっと寄り道できる楽しみの場、交流の場、思索の場でもありたいなどと考え配慮したつもりですが、まだまだ不十分です。町の図書館にも助言を受けたりして改善していきたいです。

また、退職後1年間、鳥取短期大学の司書講座を聴講生として受講しました。教わったことを反復し、さらに実践の中からも学びながら喜ばれる図書館作りを努めていきたいです。



図書館の住所は下市 32-3
連絡先は 090 - 8249 - 5138

今月の税 国民健康保険税 (1期分) 町県民税 (1期分) 納期限は 7月2日 (月) です

編集後記

5月はイベント月間でした。本紙12ページから15ページまでの「まちの話題」はイベント写真満載です。私もカメラを持って(日焼け止めはたっぷり塗って)取材に出かけましたが、ほとんどのイベントが天候に恵まれ、例年以上に多くの人出でにぎわっていました。

6月はいよいよ大山の夏山開き。登山シーズン到来です。そして町内に数多くあるブルーベリーの観光農園もオーブンを迎えます。ジャムもいいですが、この時期ならではの、摘みたてを味わいにぜひお出かけください。



大山町広報 6月号 No.27

◆発行：大山町役場

◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-2702

大山町ホームページ

<http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社